

13 研究・調査事業

今後の食品健康影響評価の基礎資料とするために、研究・調査事業を行っています。

食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査

食品安全委員会は、リスク評価の実施又は評価方法の指針等の策定に必要なデータ及び知見等を得ることを目的として、研究・調査事業を行っています。2026年度に新たに実施する研究・調査課題については、2025年度研究・調査企画会議事前・中間評価部会での審議を経て、食品安全委員会において決定しました。

■2026年度新規研究課題

- ・小児期におけるビスフェノール類曝露が健康に及ぼす影響の疫学的評価
- ・食品健康影響評価における新たなアプローチによる評価方法 (NAMs) データを活用したウェイトオブエビデンス (WoE) 評価の体系化に関する研究
- ・PFAS の曝露源及び体内動態解明のための介入試験による試行的調査
- ・ヒト肝細胞キメラマウスを用いたPFASの消失半減期予測とリスク評価
- ・国際的規制原則に資する、代替タンパク質の機能的アレルギー性評価と加工によるリスク変動解析
- ・レンサ球菌を原因とした集団食中毒事例リスク評価のための基盤形成に資する研究〔若手枠〕
- ・食品中に含まれるマイクロ・ナノプラスチックの体内動態解析手法の開発〔若手枠〕



2024年度から食品健康影響評価を担う若手専門家の育成枠を開始しました！

■2026年度調査課題

農薬リスク評価に関する海外状況調査

研 究



調 査



これまでの研究及び調査の報告書等は
こちらをご覧ください。

食品健康影響評価技術研究成果発表会（2024年度終了分）

2024年度に終了した研究課題について、その研究の成果の普及及び活用を促進することを目的として2026年3月2日に、成果発表会をオンラインで開催しました。

食品関連化学物質のリスク評価におけるリードアクロス手法の適用と信頼性評価に関する研究

山田 隆志 | 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部 部長

アレルギー誘発性を有する植物に由来するタンパク質の網羅的消化性評価

児玉 浩明 | 千葉大学 大学院園芸学研究院 先端園芸工学講座 教授

研究成果紹介

食品に含まれるトランス脂肪酸の摂取量推計に係る研究（2023-24年度研究事業）

トランス脂肪酸について、食品安全委員会は、2012年に日本の通常の食生活ではWHO勧告基準（総エネルギー摂取比1%）未満で健康影響は小さいと評価しています。この評価から10年以上が経過しており、食習慣の変化や諸外国での食品からのトランス脂肪酸排除の取り組みの進展を踏まえ、食品中トランス脂肪酸の含有量実態調査と日本人のトランス脂肪酸や飽和脂肪酸の摂取量推計の研究を行いました。

その結果、トランス脂肪酸の一日摂取量の総エネルギー摂取比は、男性の平均値（中央値）で0.29～0.39%

（0.21～0.34%）、女性で0.33～0.40%（0.24～0.36%）でした。年齢区分別では7～14歳の値が高い傾向にありますが、WHOが推奨する総エネルギー摂取比1%未満を大きく下回っていることが確認されました。95パーセンタイル値でも、女性の20代を除きすべての年齢層の男女で1%を下回っていました。また、加工食品等のトランス脂肪酸含有量が総じて低くなっていました。

報告書詳細は
こちらから↓



14 国際協調

委員、専門委員又は事務局職員が、以下の国際会議等に参加し、各国の専門家・関係機関との意見・情報交換等を行いました。

2025年	7月	国際食品保全学会年次学会 (IAFP) 2025 (米国)
	9月	EUROTOX2025 (ギリシャ)
		FAO/WHO合同残留農薬専門家会議 (JMPR) (タイ)
		レギュラトリーサイエンスに関する国際会議 (GSRS) 2025 (スイス)
2026年	10月	ドイツ連邦リスク評価研究所 (BfR) 主催 「PFASのリスク評価における課題に関する国際会議」(ドイツ)
	2月	第41回OECD農薬作業部会 (フランス)
	3月	第65回米国毒性学会 (SOT) (米国)

英文電子ジャーナルの紹介

「Food Safety – The Official Journal of Food Safety Commission」は、食品のリスク評価に関する論文、食品安全委員会が取りまとめた評価書の内容等の海外への情報発信を行うため、食品安全委員会が科学技術情報発信・流通総合システムJ-STAGE上に開設した英文電子

ジャーナルです。PMC (PubMed Central) にも収載されています。2025年度は、vol.13 No.2 (2025年6月)、vol.13 No.3 (9月)、vol.13 No.4 (12月) 及びvol.14 No.1 (2026年3月) を発行し、国内外へ広く情報発信しました。

2025年度にFood Safetyに掲載された主な論文等

タイトル	著者
Development of Technical Specification for <i>Clostridium botulinum</i> Detection That Can Be Used as a Reference Method in Japan	Maria Gabriela Quintana Ovelar, Miho Endo, Shiori Yamane, Chie Monma, Tomoko Kohda, Kaoru Umeda, Kayo Okumura, Hisao Kurazono, Eiki Yamasaki
Establishment of Standard Methods for <i>Listeria monocytogenes</i> Detection from Foods in Japan	Yumiko Okada, Akiko Nakama, Yukako Shimojima, Miki Ida, Hiromi Nakamura, Kayoko Otsuka, Sumi Ebuchi, Akiko Tomaru, Tomoko Nishida, Tomotaka Yoshida, Hideaki Matsuoka
Development of a Long-term Migration Test Method for Plastic Food Utensils, Containers, and Packaging	Chiharu Mizuguchi-Fukase, Asako Ozaki, Eri Kishi, Daichi Asakawa, Miku Yamaguchi, Yutaka Abe, Motoh Mutsuga

投稿のお願い

本誌は投稿料（査読）及び掲載料無料で、24時間オンラインシステム (Editorial Manager®) より投稿を受け付けています。本誌のさらなる発展に向けて皆様の投稿をお待ちしています。

国際機関、海外の政府機関や研究機関の食品安全に関する情報提供

国際機関、海外の政府機関や研究機関が公表する食品安全に係る情報を収集し、翻訳・要約して「食品安全関係情報」データベースとして提供しています。キーワード、地域指定、分類選択などで情報を検索できます。海外の食品安全情報の収集には是非ご活用ください。

なお、このデータベースに掲載されている情報に記載されている意見・見解・主張は、情報発信機関又はその情報内で取り上げられている機関等によるものであり、食品安全委員会の考え方と異なる場合がありますのでご注意ください。

世界の情報 (検索ページ)



15 リスクコミュニケーション

食品安全委員会は、食品健康影響評価の結果や食品安全に関する基礎的な知識について、報道関係者、食品関係事業者、研究者、行政担当者、消費者等の様々な立場の方と意見・情報を交換しています。

意見交換会

食品安全委員会は、広く国民に対して意見交換の機会を作るべく、どなたでも参加できる一般向けの意見交換会に力を入れています。2025年4月に、農薬の再評価をテーマとした意見交換会をオンラインで開催しました。

講師派遣

食品安全委員会は、委員や事務局職員を講師として派遣しています。2025年度は26回実施しました。今回は小島登貴子委員、杉山久仁子委員の講師派遣事例を紹介します。

講師派遣の依頼を随時受けつけています
(旅費以外の費用は原則不要)。
食の安全ダイヤルのメール窓口(裏表紙)
までお気軽にご相談ください。

① 小島登貴子委員 一高校生に講義一

埼玉県立川越女子高等学校
「スーパーサイエンスハイスchool特別講義」(6月)

川越女子高校を訪問し、1, 2年生の希望者12名を対象に、学生の関心が高い食中毒や遺伝子組換え食品をテーマに講義し、食品の安全を守る仕組みを学んでいただきました。

真剣にメモを取りながら多くを学び取ろうとする姿勢や、質疑応答の時間を目一杯活用して不明点を解消しようとする姿がとても印象的でした。日頃なかなか接することのできない高校生と意見交換ができた貴重な機会となりました。

学生からは、「新しい知識を習得できたことに満足した」、「食品安全行政への信頼が高まった」、「深掘りしたい」などの感想をいただきました。



埼玉県立川越女子高校

② 杉山久仁子委員 一生協組合員と対話一

生活協同組合コープながの「食の安全学習会」(3月)

コープ組合員及び行政関係者など(89名)を対象に、加熱調理による食中毒予防をテーマに講演しました。受講者にはハンバーグや唐揚げなど身近なメニューや、近年、家庭でも行われている低温調理を事例に、加熱不足による食中毒を防ぐための考え方を楽しく学んでいただきました。

杉山委員が特に強調した点は、「十分加熱できたかは見た目では判断できないこと」。この点について食品安全委員会の実験を元に具体例をあげて繰り返し説明し、自己判断で加熱時間を短くしたり加熱温度を下げたりしないことが大切であることなどを説明しました。

アンケートを見ると、杉山委員が強調した点を理解いただくとともに、「家族みんなで食中毒に気をつけたい」という感想もいただきました。また、「終始楽しく講演を聞くことができた」という嬉しい声もいただきました。



コープながの

関係省庁と連携したリスクコミュニケーション

食品安全委員会は様々な省庁と連携し、食品安全に関するリスクコミュニケーションや情報発信にも取り組んでいます。

意見交換会、親子向けイベント

2025年度は、食品中の放射性物質、食品添加物及び残留農薬等の安全に関し、消費者庁、厚生労働省、農林水産省と連携し、「食品安全に関する意見交換会(放射性物質、食品添加物及び農薬等)」と題して、全国4会場で一般消費者を対象とした意見交換会(対面及びオンライン)を開催しました。

また、「食べものの安全ってなあに?親子で学ぼう!体験しよう!」と題して、GOOD LIFEフェア2025(東京都、

9月)、みらいのたからばこ2025 in 大阪(大阪府、11月)に出展し、主に小学生とその保護者を対象に、食品中の農薬、添加物、放射性物質及び食中毒について学べるブース出展を行いました。ブースでは、パネル展示とそれに関連したクイズや塗り絵、ミニ講座を行いました。東京会場では約3,500名、大阪会場では約2,500名の方々にブースにお越しいただきました。



一般消費者向け
意見交換会



親子向けイベント
「親子で考える食の安全〇×クイズ」



親子向けイベント
「展示パネル(一部)」

トーク番組

食品安全の科学と国の制度、食品の安全リテラシーについて、国民の皆様楽しく考えていただくため、消費者庁が株式会社ユーザベースのNewsPicksとトーク番組を制作しました。

本番組に松永和紀委員が出演し、じゃがいもやカフェイン、農薬や食品添加物について、司会の成田修造さん、宮村優子さん、ゲストの杉浦太陽さんが感じていた身近な疑問についてフリートークを繰り広げています。また、

食品安全においては、体に摂り込む化学物質や微生物などの量を意識することが大切で、国の制度でどのように安全が守られているかなどについて、楽しくわかりやすく解説しています。

NewsPicksのコンテンツの中でも教育にフォーカスしたネット配信番組 EduPassion 及び YouTube で配信中です。



動画はこちら



<https://www.food-safety.caa.go.jp/np-syokuannliteracy>



食品安全モニター になりませんか？



食品安全委員会は、リスク評価の結果に基づく施策の実施状況等を確認するため、発足当初から毎年度「食品安全モニター」を公募しています。

食品安全モニターに任命された方には、主に3つの活動をお願いしています。

1

随時報告

日常生活で感じている食品安全に関するさまざまな課題や問題点を随時報告していただきます。いただいた報告は、必要に応じてリスク管理機関（厚生労働省、農林水産省、消費者庁等）へ共有しています。過去には、随時報告がきっかけとなり、「加熱時に生じるアクリルアミド」のリスク評価を行った実績があります。

2

課題報告

食品の安全に関する意識等を把握するためのアンケート調査に、年に1度回答いただきます。

3

情報の拡散

食品安全委員会のFacebookやXのアカウントなどをフォローしていただき、情報のシェアやリポストをお願いしています。

応募要項

- 毎年度、12月～1月に130人程度を募集、任期は1年間（最長5年まで延長可）。
- 応募資格は、大学等で食品に関連した分野を学んだ方、食品安全に関する業務に携わっていた方など。
- 食品安全モニター専用のeラーニング（食品安全の講義を提供期間中いつでも受講可）と、モニターを対象としたセミナーを無料で受講できます。

活動内容／
応募要項等はこちら



食品の安全性に関する知識・理解を深めていただくために

食品安全委員会では、食品の安全性に関する知識・理解を深めていただくために様々な形で情報発信を行っています。

食の安全
ダイヤル

☎ 03-6234-1177

10:00～12:00／13:30～17:00（土・日・祝日、年末年始を除く）

ホームページ <https://www.fsc.go.jp/> 食品安全委員会 検索

メール窓口 <https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-0001.html>

ホームページ



メールマガジン



<https://www.fsc.go.jp/e-mailmagazine/>

Facebook



<https://www.fsc.go.jp/sonota/sns/facebook.html>

X



<https://www.fsc.go.jp/sonota/sns/x.html>

ブログ



https://www.fsc.go.jp/official_blog.html

YouTube



<https://www.fsc.go.jp/visual/youtube.html>